

## 「ああ～」と言うほどに

ジョヴァンカ アリフ サブトラ  
日本語・日本文化研修留学生 インドネシア

私はインドネシアのガジャマダ大学から和歌山大学へ留学に来ました。今年は、コロナの影響で来日がのびのびになってしまいました。色々大変でしたが、最後まで諦めなくて良かったです。自分の頑固さに感謝です。来日は他の留学生よりはかなり遅れましたが、まだ留学期間終了まで何か月かあったので良かったです。それまでは、もし日本にいる期間がただの半年でも、一か月でも、どうしても日本に行きたいと思っていました。ですので、少し残念ですが、日本に留学できたことに感謝しています。

日本に行きたかった理由は異文化を体験したかったからです。確かに、最初のきっかけは日本のアニメへの憧れからでしたが、日本語と日本文化を学んでいるうちに、アニメ以外の文化にも興味がわいてきました。異文化と言っても、日本とインドネシアの文化の違いは山ほどあるので、最初は「何でもいいから、体験したい」と考えました。そこから始まったのが、私の「異文化冒険」です。

来日したわずか1か月に「忘れられない」異文化体験をしました。インドネシアではお湯なしでのシャワーは普通ですが、「せっかく日本に来たのだから、お風呂に入りたいな」と考えました。ですが、残念ながら部屋にあるお風呂は小さくてあまり気持ちよくなかったのです。

その時、あるアイデアが浮かびました。「日本には銭湯というものが普通じゃないか」と考えました。早速、日本の友達に聞いてみました。「ね、ここら辺って銭湯とかあるん?」。すると「あるよ、一緒に行く?」と返事が来ました。本当に嬉しかったです。夜になって、早速友達と銭湯に行きました。歩くのにはなかなかの距離でしたが、着いた時ワクワクが止まりませんでした。銭湯とかは初めてなので、楽しみにしていました。



銭湯には行って、最初に思ったのは「広いな」でした。頭の中には、アニメの影響を受けて、イメージがありましたが、思っていたのとは違いました。それに、ハイテクで販売機械からクーポンを買ってから入る、ということは全く思っていませんでした。

和大生用のクーポンを買って、店員に学生証を見せた後、いよいよお風呂に入れるのです。すると、驚いたことに、皆全裸でした。実は前もって頭の中で想像していたのですが、「たぶん、全裸だよな、でも待ってよ、アニメにはタオルをつけたまま入れるお風呂もあるじゃないか」と思い込んでいたのです。でも、やはり、全裸でないと入れませんでした。本当に恥ずかしかったです、皆の“前”が見えていて、私のも皆に見えるのが、本当に恥ずかしかったです。着替え中ずっと“前”をタオルで隠していました。隠したままにしているつもりでしたが、中に入るとやはり無理でした。ですが、はずかしさより、驚いた気持ちの方が大きかったです。

中はお風呂というより、プールでしたが、一つだけではなく、色々なお風呂がありました。それぞれのお風呂の温度が違っていて、効果も違うらしいです。それと、中にはサウナがあって、外には露天風呂もありました。「最高だな」と思いました。体を洗ったあと、一つ目のお風呂に入る直前に思わず「ああ〜」と口から出てしまいました。それほどの解放感と気持ちよさでした。「何時間でも入ってられるな、これ」と思いました。その後も色々なお風呂に入りました。泡がいっぱいのお風呂や、マッサージ用のお風呂や、生ぬるいですが気持ちいいお風呂にも入りました。ですが、やはり日本の温泉は露天風呂ですよ。露天風呂はすごかったです。その時は冬だったので外は寒くお風呂は熱く、最高でした。それに、外にはテレビがあって、長い時間でもあきずに入ることができます。それと、サウナです。私はサウナに入るのは生まれて初めてで、最初は5分も耐えられませんでした。それでも、いい体験だったと思います。あの時は初めてなので、1時間ぐらいしか銭湯にいなかったです。

お風呂から出たあと、ずっと憧れだったことをやりたいと思って、友達に「お風呂の後は牛乳とかは飲まないの？」と聞いたら「飲むよ」と答えたので、嬉しかったです。アニメでは、よく温泉から出た後牛乳をビンから飲むシーンを見ましたが、本当にそうなのか



はその時までには疑問でした。やっと憧れのシーンを再現できる。牛乳を飲み終わった瞬間、また思わず「ああ〜」が口から出てしまいました。本当に美味しかったです。

日本のお風呂文化はやはり最高でした。「ああ〜」と言うほどに最高です。

## **Until You Says 「Aah～」**

**JOVANKA ALIF SAPUTRA**  
**Japanese Studies Student / Indonesia**

I am an exchange student from Universitas Gadjah Mada Indonesia. My first time I came to Japan it was not a really an enjoyable experience. When I first came to my soon to-be room, there's a lot of problems. One of it was the hot water won't come out, so I was forced to not bathed for around a week because it was winter and it's too cold to take shower without hot water. It was a torture until I found out from my friend that around my apartement there's a public bathhouse. It was my first experience going to public bathhouse, so there's a lot of new things for me. There's so much type of huge bathtub with different features and effects, so it's not a boring bath at all for me. After bath you can even drink milk from bottles like an anime scene. This new experience was really making me go 「Aah～」 the whole time. Japanese bath is the best!

## **Hingga Membuatmu Mengatakan 「Aah～」**

**JOVANKA ALIF SAPUTRA**  
**Mahasiswa Studi Jepang / Indonesia**

Saya adalah seorang mahasiswa pertukaran pelajar dari Universitas Gadjah Mada Indonesia. Pengalaman pertama saya pergi ke Jepang, awalnya tidak bisa dibilang menyenangkan. Pertama kali saya menuju kamar saya, terdapat banyak sekali masalah di kamar itu. Salah satu masalahnya adalah air panas tidak bisa mengalir, sehingga saya terpaksa untuk tidak mandi hamper selama 1 minggu, dikarenakan saat itu musim dingin dan sangat menyiksa mandi tanpa air hangat. Hal ini sangat menyiksa, sampai akhirnya saya mendapatkan informasi dari teman saya, bahwa disekitar apartemen saya terdapat pemandian umum. Hal ini merupakan pengalaman pertama saya, sehingga banyak sekali hal baru bagi saya. Terdapat banyak jenis bak mandi yang tersedia dengan beragam fungsi dan kegunaan. Seusai mandi kamu bahkan bisa meminum susu botol seperti yang berada di anime. Pengalaman ini benar-benar membuatmu mengatakan 「Aah～」 sepanjang waktu. Pemandian di Jepang memang luar biasa!